

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
新潟コンピュータ専門学校	昭和60年2月26日	田中 良	〒950-0086 新潟県新潟市中央区花園1丁目1番15号2 アイコニックビル2F (電話) 025-227-1121			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 国際総合学園	昭和32年10月10日	理事長 池田 祥護	〒951-8063 新潟県新潟市中央区古町通2-541 (電話) 025-210-8565			
目 的	クリエイター業界で必要とされる総合コンテンツ開発技術、知識及びチーム制作の実践教育を通じて高度な技術力・柔軟な思考力・豊かな人間性を有し、創造力・リーダーシップ・問題解決力に優れたクリエイター業界企業及び社会が必要とするエンターテインメント性を有する人材を育成すること。					
分野	課程名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
情報処理	工業専門課程	I T 総合学科 CG・Web専攻	4 年制(昼)	3, 421単位時間 (又は単位)	無し	平成20年文部科学大臣告示 第15号
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技
		279単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	3, 142単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)
生徒総定員		生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
45人		2人	3人	3人	6人	
学期制度	■前 期：4月 1日～ 9月30日 ■後 期：10月 1日～ 3月31日			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 習得状況及び出席状況を加味し決定	
長期休み	■学年始め：4月 1日～ 4月 2日 ■夏 季：8月 8日～ 8月23日 ■冬 季：12月19日～ 1月 4日 ■学 年 末：3月 1日～ 3月31日			卒業・進級条件	授業科目の全習得	
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 通常カリキュラム時間外にて対応			課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動を中心として実施 ■サークル活動 (有・無)	
主な就職先	■主な就職先、CG・Web業界 ■就職率 - % ■卒業者に占める就職者の割合 - % ※令和7年度は就職希望者がいないため該当なし (令和7年度卒業者に関する令和8年4月時点の情報)			主な資格・検定	CG-ARTS協会CGクリエイター検定 サークティファイビジネス著作権検定	
中途退学の現状	■中途退学者 0名 ■中退率 0.0% 2026年5月1日在学者 2名 ■中途退学の主な理由 ■中退防止のための取組 担任制により、定期的なガイダンス(面談)を実施し、個別の指導を行う。 心理カウンセラー制度があり、予約をすれば無料でカウンセリングを受けられる。					
ホームページ	URL:http://ncc-net.ac.jp/					

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

1. 教育課程編成委員会の目的

クリエイター業界は急速に発展する業界であり、必要とされる知識技術も急速に変化している。このような変化の激しいクリエイター業界における人材の専門性に関する動向、新たに必要となる実務に関する開発技術などを十分に把握、分析した上で当該専門課程の教育を施すに最もふさわしい授業科目の開設または授業内容・方法の改善工夫等を行うために教育課程編成委員会を設ける。

2. 教育課程編成委員会の構成

編成委員会は学校長、教務責任者、及び当該学科の専攻分野に関する企業等（以下「企業等」という）から学校長が依頼する委員により構成される。委員の任期は、1年とする。ただし、委員に欠員が生じた場合には補欠委員を依頼し残りの前任者任期を依頼するものとする。次年度委員は本人意思を確認し再任することができる。

3. 教育課程編成委員会の運営方法

編成委員会の委員長には学校長が就任する。委員長は会務を統括し編成委員会を運営する。委員長に事故があるとき、又は、委員長が何等かの理由にて欠席したときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する。編成委員会は必要に応じ委員以外の者に出席を求めることができる。

学校側委員は企業等委員に対し現行のカリキュラム・科目・授業方法を説明するなどして、十分な情報提供に努める。

編成委員会は全委員企業からも積極的に情報を収集し、さまざまな角度からの意見を踏まえて議論を行うものとする。

4. 教育課程編成委員会検討結果の活用

教育課程編成委員会の検討結果については、学内に於いて該当学科教員・講師により十分に検討し、有効な方策に関してはこれを採用し、速やかに授業科目の開設または授業内容・方法の改善を行い、教育内容の質の保証と向上に努めるものとする。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

令和8年4月1日現在

名 前	所 属
田代 昭博	日本クリエイター育成協会会員企業(日本マイクロソフト株式会社)
春日井 良隆	日本クリエイター育成協会会員企業(日本マイクロソフト株式会社)
徳留 和人	日本クリエイター育成協会会員企業・編成委員 株式会社スマイルブーム
佐野 浩章	日本クリエイター育成協会会員企業(ツェナネットワークス株式会社)
塚本 昌信	日本クリエイター育成協会会員企業(株式会社ランド・ホー)
初芝 弘也	日本クリエイター育成協会会員企業(株式会社トライクレッシェンド)
松下 正和	日本クリエイター育成協会会員企業(株式会社ヘキサドライブ)
羽田 洋平	日本クリエイター育成協会会員企業(株式会社アール・インフィニティ)
富田 賢一	日本クリエイター育成協会会員企業(株式会社ボーンデジタル)
関根 有明	日本クリエイター育成協会会員企業(株式会社ルーデンス)
森永 司	日本クリエイター育成協会会員企業・編成委員 モリパワー株式会社
納谷 新治	日本クリエイター育成協会会員校(ECCコンピュータ専門学校)
山中 俊治	日本クリエイター育成協会会員校(国際理工情報デザイン専門学校)
松谷 健司	日本クリエイター育成協会会員校(太田情報商科専門学校)
江村 智史	新潟コンピュータ専門学校
須藤 加織	新潟コンピュータ専門学校
増田 量滋	新潟コンピュータ専門学校

名 前	所 属
徳留 和人	株式会社スマイルブーム
森永 司	モリパワー株式会社
江村 智史	教務部長
須藤 加織	教務部 CG・Webクリエイター科学科長
増田 量滋	IT 総合学科学科長・教務次長

(開催日時)

第1回 令和8年 10月 9日 14:00～15:00 予定

第2回 令和9年 1月 26日 14:00～15:00 予定

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

1. 企業等との連携による実習・演習等の目的

クリエイター業界で使用されている標準技術、最新技術等を学生が現場で実践されている「グループ制作」により体験し習得する為に、企業等と連携して実習・演習を行う。

2. 企業等との連携による実習・演習等の運営

現場で実施されている「グループ制作」を学生に行わせ、ポイント毎に日本クリエイター育成協会会員企業及び連携企業による作品評価を実施し学生による修正を実施させる。この際に学科教員・講師により企業等から指摘された点の改善が行われているかを確認・指導する。また、この改善がエンターテインメント性を意識したものであるかを随時確認して行くことが重要である。

この指導方法等は連携企業を中心として教務部長・学科主任と共に改善案を検証し改善を図る。

3. 企業等との連携による実習・演習等の評価

本校教員・講師は連携する日本クリエイター育成協会会員企業及び連携企業担当者が学生作品に対し評価を実施する。この評価を元に本校教員・講師が成績評価を行う。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
修了制作Ⅰ	Adobe ソフトを活用した CG 作品制作を通して、企画・デザイン・加工・特殊効果などの実践的な制作技術を習得する。	日本クリエイター育成協会 株式会社スマイルブーム モリパワー株式会社
修了制作Ⅱ	デジタルコンテンツの企画から制作・発表までを実践し、制作工程や作品表現力を養う。	日本クリエイター育成協会 株式会社スマイルブーム モリパワー株式会社
進級制作	作品制作を通して企画力・制作力・プレゼンテーション力を養う。	日本クリエイター育成協会 株式会社スマイルブーム モリパワー株式会社
作品集制作	CG 作品集の企画・制作を通して、作品の構成力や表現力を高め、作品集を完成させる。	日本クリエイター育成協会 株式会社スマイルブーム モリパワー株式会社
卒業制作	デジタルコンテンツの企画から制作・展示・発表までを実践し、制作工程の管理や作品の改善を通して実践的な制作力を養う。	日本クリエイター育成協会 株式会社スマイルブーム モリパワー株式会社

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

1. 推薦学科の教員に対する研修・研究の目的

就業規則第 57 条及び「職員の教育・研修に関する細則」(添付 1-3-1 参照)に定められている通り、教員の質を一定以上に保つことと技術の向上のために、業界で使用されている標準技術、最新技術等を教員が直接企業等から学ぶ研修と、教員・講師の授業技術の向上・指導技術の向上を目指し研修を毎年度教員・講師のスキル状況に合わせて適宜受講させる事とする。

2. 推薦学科の教員に対する研修・研究の運営

研修については本校の所属する学校法人による研修と、外部研修を適時組み合わせる。教員・講師は研修に参加した際には報告書を作成し提出する。また、その研修内容について学科内にて報告会を実施するなどして学科内教員・講師の情報共有を実施している。

4. 学校関係者評価

((学校関係者評価委員会の全委員の名簿))

令和 8 年 4 月 1 日現在

名 前	所 属
増澤 正利	新潟コンピュータ専門学校校友会 (OB・OG) 副会長
森永 司	モリパワー株式会社 代表取締役
磯野 貴志	株式会社リズ
阿部 正善	にいがたデジタルコンテンツ推進協議会 専務理事
田中 良	新潟コンピュータ専門学校 校長
増田 量滋	新潟コンピュータ専門学校 教務次長
関塚 堅斗	新潟コンピュータ専門学校 事務局長

(学校関係者評価結果の公表方法)

当校ホームページ(URL: <http://ncc-net.ac.jp/>)にて公表する

5. 情報提供

(情報提供の方法)

書類又は、当校ホームページ(<http://ncc-net.ac.jp/>)にて提供する

授業科目等の概要

(工業専門課程 I T 総合学科 CG・Web 専攻) 令和8年度											
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	習・実技・実験・実	
○			グラフィックデザイン基礎	Mac を用いたデザイン制作を通して、画像加工やグラフィックデザイン、CG 制作の基礎技術を習得する。	1 前	156	6			○	
○			グラフィックデザイン I	Mac を用いたデザイン制作を通して、レイアウトや装丁の基礎技術を習得する。	1 後	180	6			○	
○			基礎デッサン	鉛筆デッサンを通して、立体・空間把握力と陰影表現の基礎を習得する。	1 前	39	2			○	
○			ドローイング I	ローイングを通して、発想力や表現力、アートワークの基礎技術を習得する。	1 後	54	2			○	
○			コンピュータ概論	マルチメディアやデジタル端末、ネットワークの基礎知識を習得する。	1 後	54	2	○			
○			CG 概論	CG の基礎知識や 2 次元・3 次元 CG、CG 合成、著作権に関する知識を習得する。	1 前	39	2	○			
○			デザイン基礎	コンピュータデザインに必要な基礎知識を学び、表現技法等を実践する。	1 前	39	2			○	
○			Web 基礎	Adobe ソフトを用いた Web デザイン制作を通して、デザインからコーディングまでの基礎技術を習得する。	1 後	54	2			○	
○			3DCG 基礎 I	Maya による 3DCG 制作を実践し、基本操作や制作工程、作品表現の技術を習得する。	1 前	39	2			○	
○			3DCG 基礎 II	3ds Max による 3DCG アニメーション制作を実践し、制作技術や表現力を習得する。	1 前	54	2			○	
○			映像基礎 I	映像編集の基本操作や制作工程を学び、CG 動画作品の制作・発表を通して実践力を養う。	1 前	39	2			○	
○			映像基礎 II	映像加工や特殊効果の制作工程を学び、CG 動画作品の制作・発表を通して実践力を養う。	1 前	54	2			○	
○			修了制作 I	Adobe ソフトを活用した CG 作品制作を通して、企画・デザイン・加工・特殊効果などの実践的な制作技術を習得する。	1 前	54	1			○	

授業科目等の概要

(工業専門課程 I T総合学科 CG・Web 専攻) 令和8年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技
○			グラフィック デザインⅡ	基礎力を基に、広告や冊子デザイン制作を通して、文字・画像配置や印刷データ作成など実践的なデザイン技術を習得する。	2 前	195	7			○
○			グラフィック デザインⅢ	グループによるグラフィックデザイン制作を通して、実践的な制作力や協働力、発表力を習得する。	2 後	162	6			○
○			ドローイング Ⅱ	鉛筆デッサンを通して、観察力や表現力を養い、CG制作に必要な基礎力を身に付ける。	2 前	39	2			○
○			ドローイング Ⅲ	鉛筆デッサンの応用演習を行い、作画力や表現力、CG制作に必要な観察力を習得する。	2 後	54	2			○
○			広告理論	広告計画やクリエイティブ戦略の基礎を学び、広告制作に必要な知識や表現方法を習得する。	2 前	39	2	○		
○			D T P実習	DTP制作を通して、レイアウトやカラー、画像表現などのデザイン技術を習得する。	2 後	54	2			○
○			W e b	Web コンテンツ制作を通して、企画立案からサイト構築までの実践的な技術を習得する。	2 前	39	2	△		○
○			インターンシ ップⅠ	企業連携による作品制作を通して、実践的な制作技術や品質管理、プレゼンテーション能力を養う。	2 後	108	4			○
○			修了制作Ⅱ	デジタルコンテンツの企画から制作・発表までを実践し、制作工程や作品表現力を養う。	2 後	108	3			○
○			就職実務	業界研究やポートフォリオ制作、面接演習を通して、就職活動に必要な実践力を養う。	2 後	54	2	○		△

授業科目等の概要

(工業専門課程 I T 総合学科 CG・Web 専攻) 令和8年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			グラフィックデザインⅣ	基礎力を基に、広告や冊子の表紙デザインを制作し、実践を通してグラフィックデザイン技術を習得する。	3 前	156	6			○
○			グラフィックデザインⅤ	基礎力を基に、グループで実践的なデザイン制作に取り組み、チームワークやプレゼンテーション能力を養う。	3 後	162	6			○
○			ドローイングⅣ	鉛筆スケッチを通して観察力を養い、CG 制作に必要な表現力や実技試験に対応する基礎技術を習得する。	3 前	26	1			○
○			ドローイングⅤ	応用デッサンを通して観察力や表現力、作画スピードを向上させ、CG 制作に必要な技術を習得する。	3 後	54	2			○
○			ビジネスマナー	検定対策や講義を通して、社会人に必要な知識やビジネスマナーを習得する。	3 後	39	2	○		
○			ビジネスコミュニケーション	検定対策や講義を通して、言語・非言語によるコミュニケーション能力を習得する。	3 後	27	1	○		
○			ビジネス著作権	著作権の基礎知識を学び、著作物を適切に利用するための知識を習得する。	3 後	27	1	○		
○			進級制作	作品制作を通して企画力・制作力・プレゼンテーション力を養う。	3 後	108	3			○
○			作品集制作	CG 作品集の企画・制作を通して、作品の構成力や表現力を高め、作品集を完成させる。	3 後	108	3			○
○			Web	Web サイトの企画から制作までを実践し、Web 制作技術とチームワークを習得する。	3 前	39	2	△		○
○			インターンシップⅡ	企業と連携した作品制作を通して、実践的な制作技術やプレゼンテーション能力を習得する。	3 後	108	4			○

授業科目等の概要

(工業専門課程 I T総合学科 CG・Web 専攻) 令和8年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技
○			グラフィックデザインⅥ	多彩な広告のグラフィックデザインを実践形式で習得する。	4 前	144	6			○
○			グラフィックデザインⅦ	少人数グループでより実践的なグラフィックデザインの課題制作に取り組む。	4 後	180	6			○
○			ドローイングⅥ	鉛筆スケッチの応用技術を習得するとともに、観察力や作画力を高め、CG 制作に必要な表現力と実技試験に対応できる技術を養う。	4 前	26	1			○
○			ドローイングⅦ	鉛筆スケッチの応用技術を習得するとともに、観察力や作画力を高め、CG 制作に必要な表現力と実技試験に対応できる技術を養う。	4 後	54	2			○
○			ビジネスマナー応用	社会人として必要な知識やマナーの知識向上、言葉遣い、動作、たしなみを実践する。	4 後	39	2	○		
○			ビジネスコミュニケーション応用	社会活動の場において、自己の考えや主張を整理し、第三者に対して伝達する力を身に付ける。	4 後	27	1	○		
○			ビジネス著作権応用	著作権制度の理解向上と正しく著作物を利用できる知識を身に付ける。	4 後	27	1	○		
○			卒業制作	デジタルコンテンツの企画から制作・展示・発表までを実践し、制作工程の管理や作品の改善を通して実践的な制作力を養う。	4 後	108	3			○
○			作品集制作	これまでに制作した CG 作品をまとめた作品集を企画・制作し、改善を重ねながら実践的なポートフォリオ制作力を養う。	4 後	108	3			○
○			Web 応用	Web 技術に加えてチームワークやプレゼンテーション能力を養う。	4 前	39	2			○
○			インターンシップⅢ	企業と連携した実践的な作品制作を通して、制作工程の管理や品質向上、プレゼンテーション能力を養う。	4 後	108	4			○
合計				45 科目		3,421 単位時間 (127 単位)				